伊豆半島ジオパーク
IZU PENINSULA GEOPARK

あの人あまめったいねー

そら、おめっちの言い方だら

2026

11.22 sun 14:00›16:00

GeoCafé

イズゴ。

三島市市民文化会館にて開催

やってみべえしゃ

やーんできゃーるか？

あ　た　み　？

た　あ　み　？

「オレっちゃぁ、こう言うんだよ。」

その一言に、どんな思いが隠れているのでしょう。

伊豆のことばや音の高低から、地域への愛着や、人とのつながりを考えるジオカフェです。

主催　（一社）美しい伊豆創造センター

伊豆半島ジオパーク
IZU PENINSULA GEOPARK

今回のジオカフェの登場人物

谷口ジョイ 氏　静岡理工科大学 情報学部 情報学科 教授



社会言語学・危機言語研究・方言学。静岡市・井川の方言の記録や保存、次の世代への継承に取り組み、静岡の方言がどう変化しているかを調べています。2026 年には伊豆半島の方言調査も行いました。新語や俗語にも目を向けるなど、関心は身近なことばのあちこちに。「いつもの言い方」に隠れたおもしろさを探っています。2026 年には、著書「ある言語学者の事件簿」を出版。

尾崎萌子 氏　東海大学 人文学部 人文学科 講師



日本人とアメリカ人の親子の会話を、社会言語学、英語学、対照言語学、言語社会化などの観点から研究しています。子どもは、育った環境や文化によってなぜ話し方や価値観が変わるのか、大人と子どものコミュニケーションは文化によってどのように異なるのかに関心があります。自身も小学生の子育てに奮闘中です。

聞き手・進行役　武智一雄 氏　㈱ サバーソニック＆アジロックフェスティバル提督



伊東市出身のカメラマン。写真撮影に加え、講演や執筆、飲食店・宿泊施設のプロデュースなど、伊豆半島を舞台に、キレキレなセンスでめまぐるしく活動しています。普段から伊豆の言葉づかいやイントネーションについては気になって仕方ない、今回の企画の提案者。

「えっ、その言い方、違うら？」
「アジ」「サザエ」、それから「熱海」「河津」「南伊豆」…。同じ文字でも、口にすると何かが違う。
「オレっちゃぁ、こう言うんだよ」つい教えたくなるのは、なぜでしょう。
いつもの言い方を持ち寄って、言語学者のお二人と、聞いて、話して、考える。
伊豆のことばをめぐる2時間です。
伊豆弁に自信のある方も、「自分は標準語」のつもりの方も。聞くだけの参加も大歓迎。
さあ、イズゴ。あなたの「いつも」は、どんな音？　イントネーションの世界へ、インビテーション。

お申込は
こちらから

お問合せ
（一社）美しい伊豆創造センター
0558-72-0520
（平日 8：30 ～ 17：15）

開催日時 • 2026年 11月 22日（日）14時00 分～16時00分

会　　場 • 三島市民文化会館　第二会議室（三島市一番町 20-5）
※お車の方は近隣の有料駐車場をご利用ください。

参 加 費 • 会場：500 円（お茶とお菓子付き）録画配信：無料

定　　員 • 会場 30 名　＋　録画配信（事前申込制）

お申込み • 右記 QR コードよりお申し込みください